

第 24 回西淀川地区道路沿道環境に関する連絡会 議事概要

日 時：2021 年 8 月 25 日（水） 午後 2 時～午後 4 時

場 所：国土交通省近畿地方整備局会議室、阪神高速道路株式会社、グリーンルーム（あおぞらビル 3F）、弁護士各事務所を zoom で繋いで開催

出席者：国土交通省近畿地方整備局道路部：計画調整課 平井義博課長、路政課 大野耕司課長
他、国土交通省大阪国道事務所：事業対策官他、阪神高速道路株式会社：道路環境・景観課課長他、原告団（計 10 人）、大阪連合会、弁護士、あおぞら財団

参加者数：約 30 人

(1) 被害者の訴え（山下明さん）

(2) 国土交通省、阪神高速道路株式会社からの資料説明（資料 1 大阪市西淀川区 大気の状態、資料 2 国道 43 号 大型車交通量の推移、資料 2-2 大気常時観測局新型コロナウイルス感染症の影響比較、資料 3 大気常時観測局 PR 看板レイアウトイメージ、資料 4 歌島橋交差点の植栽の補植について、資料 5 環境ロードプライシングの広報、資料 6 国道 43 号大和田高架橋補強補修工事に伴う植栽帯の削減について、参考資料 歌島橋交差点地下歩道の漏水対策について）

(3) 原告からの提案（西淀川地区道路沿道環境に関する連絡会資料）

(4) 意見交換

①被害の訴えを受けて

→裁判が行われて和解条項が締結されて、連絡会を幾度となく行い、被害者の皆さんとともに環境改善に向けた取り組みを進めている。我々としてできること、しっかりと引き続き継続的に進めていきたいと思っているので、こういった場を活用させて頂いてご意見を頂戴し進めていきたい。

②大気の改善について

- ・PM2.5 が 2 年連続で環境基準を下回った。
- ・2050 年の排出ゼロに向けた検討が近畿でも行われているのか。
→まだ具体的にはなされていない。渋滞のない、人にやさしい整備をしていきたい。自転車道の整備も効果的であると考えている。

③大型車の対策について

- ・脱炭素のために、ガソリン車から電気自動車や燃料電池車の普及が言われている。大型ディーゼル車についての方針はあるのか。
→大型ディーゼル車の電気自動車や燃料電池車についての情報は聞いていない。
- ・ディーゼル車の大型化について
→国際コンテナを積めるように大型化が進んでいる。単体の排出ガスは改良化の傾向にある。自動車は電気自動車化していく傾向にもあるので、難しい分野ではあるが、大型車の電気自動車・水素自動車がどこまで進展していくか見ていきたいと思う。
- ・国道 43 号のトロリートラック化について検討してほしい。ドイツでは実験的に行なっている。
→WG において検討する。

④その他

- ・大気常時観測局の PR 看板は現状の案で進める。
- ・歌島橋交差点の植栽は、枯れた桜の代わりにサルスベリ、枯れたクスノキの代わりにシラカシ、クロガネモチを植える。
- ・自転車道の整備について、WG で意見交換を行う。

（文責 谷内）